

平成 22 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 みんなで描こう！住みよいまち
第 4 回 「まちの夢を描こう ～テーマごとに分かれて、まちの将来の姿を描く～」

日時：1 月 15 日（土）

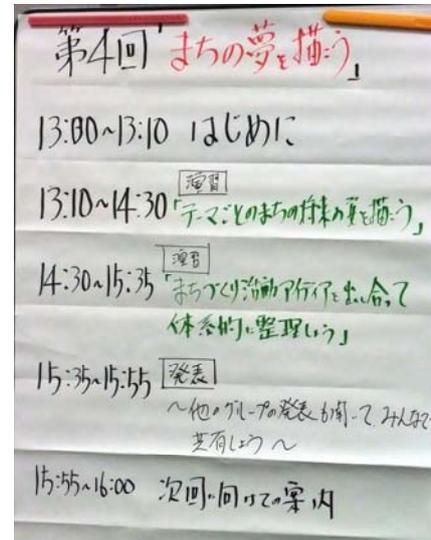
場所：名古屋都市センター11 階ホール

時間：13 時 00 分～16 時 00 分

今回が講座「みんなで描こう！住みよいまち」の第 4 回目で、まちづくりのテーマごとに分かれて、「まちの夢を描こう」ということが目的です。

まず、前回までのグループワークで取り上げた「まちの強みと弱みの整理」から、まちづくりのテーマを以下の 3 つ設定しました。グループ分けは、テーマの第 1 希望と第 2 希望をアンケートし、1 グループにスタッフと受講者を合わせて計 6～7 人のメンバーで構成されました。

- ①安全・安心に楽しく歩けるまちづくり・防災まちづくり
- ②多世代交流の支え合いコミュニティによる健康長寿・安心子育てまちづくり
- ③歴史・文化・芸能を活かした賑わいのある観光まちづくり



演習 「テーマごとのまちの将来の姿を描こう！笠寺のまち・暮らしのスケッチ」

春／夏／秋／冬／四季に関係なく	
平日／休日	朝／午前／お昼／午後／夕方／夜
だれ	が
どこ	で
どのよう	しています。

↑ 四季物語カード

「四季物語（シナリオライティング）」という手法を使って、まちの将来像（将来の暮らしのスケッチ）づくりワークショップを行いました。

将来のまちの様子や情景、そこで暮らしたり、そのまちに訪れたりする人たちの、四季折々の様子を情景的な形容詞を交えながら言葉にすることで、まちに対する思い、将来のまちの姿を描き、それを WS 参加者が共有するために行うのが「四季物語」です。



①各自、四季物語カードに書き出します。



②読み上げながらカードを張り出し、似たような意図のカードを類型化していきます。

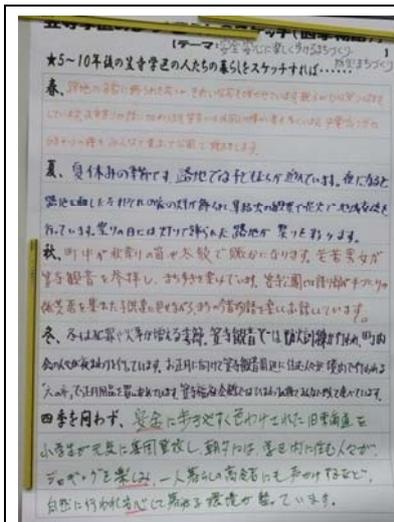


③それぞれの季節につき 2~3 枚のカードに絞り込みます。

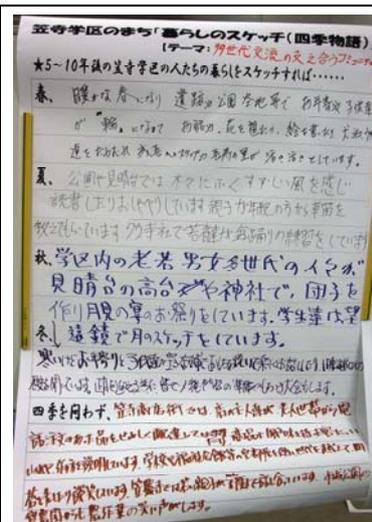
④選ばれたカードを素材にして、物語を作成します。こんな文章でどうかとグループで共感しながら進めます。

発表

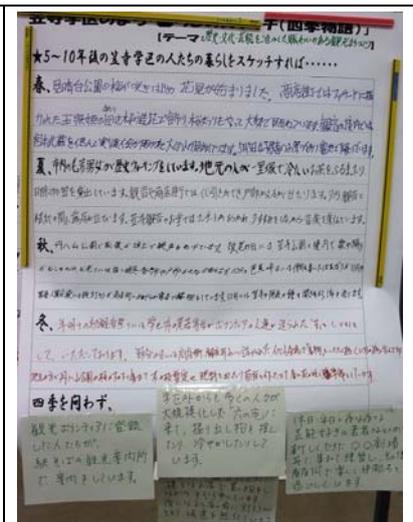
各グループ5分以内で発表します。グループ毎に順番に前に出て発表です。講師の加藤さんより、「四季物語は目を閉じて情景を思い浮かべながら聞いてもらいたい」という話もありました。



1 グループ



2 グループ



3 グループ



演習

「まちづくり活動アイデアを出し合って体系的に整理しよう」

まちづくり活動アイデアカード <small>(一枚につき一つの事例をお書きください)</small>	おなまえ:
【取り組みの名称】	
【取り組みの内容】(誰が、いつ、なにを、どのように)	
【ねらいとする効果・成果】(何のために)	

↑まちづくりアイデアカード

グループのテーマに沿って、まちづくり活動アイデアを出し合っ
て体系的に整理していきます。第3回講座で行った「こんなまちに
なったらいいなあ～笠寺学区」や、さきほど作成した「四季物語」
を参考にしながら、具体的で、実現性が高く、地域住民の方々の共
感が得られそうなで、楽しげなまちづくり活動アイデアが期待でき
そうです。今日の講座では、各自、まちづくり活動アイデアカード
を書き出す段階で終了しました。

本日のまとめ



「四季物語」の作成に熱中しすぎたせいか、グループ
ワーク「まちづくり活動アイデアを出し合って体系的に
整理しよう」は、途中で時間切れとなったので、次回に
持ち越しとなりました。

次回の講座は、その続きから取り組み、まちの夢をさ
らに深めていきます。

*** アンケートより、全体を通じたご意見・ご感想など ***

- ・個人的には理解度が遅れているが、少しずつ前進したいと思います。「まちづくり」の為に今後、種々のサークル、ボランティア等に参画してまいります。
- ・みんなのアイディア、本当になったら楽しみ・・・というのが多かった。アイディアを聞いて、やさしい人が多いと思った。
- ・自分の所にもいかせることが出来るとよいと思います。
- ・時間が短い。短いからよいのかもしれないが・・・。
- ・多くの意見を集約するのは難しいと感じた。人夫々違った夢があることが良く分かった。
- ・「将来の姿」については多く多様の意見が出され、まとめるのに苦しんだ。
- ・全体を通して時間に追われるかたちになってしまったのが残念でした。四季で書くというのは難しいと思っていたのですが意外で書けてびっくりしました。
- ・ワークショップを重ねてきたが、やはり役割分担と効率的作業を上手く行なうのは難しいですね。
- ・手法を様々、伺うと一度分かった気がするが、実際にワークをやると、今一番、主眼になっている事は何か？を忘れてしまい、うわべの話で済んでしまう事があり話し合う事をもっと深くやる必要を感じる。回を重ねて身につけたい。
- ・何人もの人が集まると色々なアイディアが出てとても面白かったです。夢が広がり楽しいワークができました。
- ・四季物語ができるかと思ったが、何とかできるものだと感心しました。全体の合意を得るのに時間が少ない気がします。